

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、社会経済の壊滅的な被害を回避するため

**堤防の整備や河川内を掘削することで、水の通り道を広げます**

地元の声

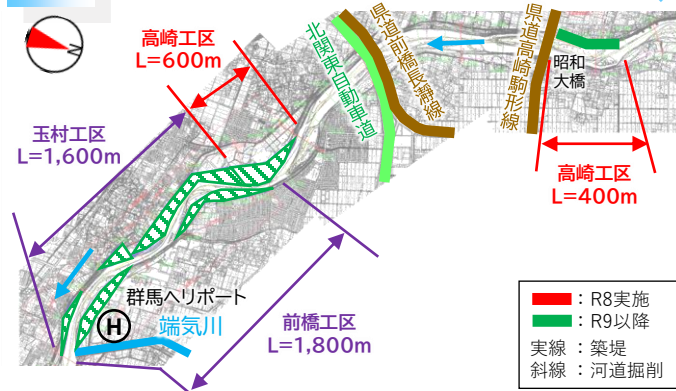
- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地域住民)
- ・川に堆積している土砂により、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所：高崎市中島町～萩原町地先
- 事業内容：河道掘削 600m  
 築堤 400m
- 事業期間：令和7年度～
- 事業着手前の流下能力：4,400m<sup>3</sup>/s
- 計画流量：6,000m<sup>3</sup>/s



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



事業前

◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。



事業後

◆ 堤防を整備するとともに、河川内の掘削を行って水の通り道を広げることで、水が流れる容量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。



成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	2,886ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	17,557戸
想定氾濫区域内の要配慮者利用施設	124施設

実施後(目標)
28ha
334戸
0施設

今、何をしているか

令和8年度は測量、詳細設計を実施します。

